



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



初夢に 古郷を見て 涙かな 小林 一茶

◇ 本年もどうぞよろしくお願いいいたします ◇



皆様おそろいで、よい新年をお迎えになられたことと存じます。

本年も教職員一同、保護者の皆様・地域の皆様と力を合わせ、子どもたちの健やかな成長のために力を尽くしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいいたします。

さて、例年とは異なる厳しい状況の中、新しい年を迎えました。年末年始も感染の勢いは衰えることなく、「我慢のお正月」となった方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

一茶の句に込められた気持ちが、本当に現実味を帯びてしまったような新春ですが、将来、子どもたちにとって「ふるさと」になるであろう八幡の地で、『あの頃は大変だったけどがんばった』という思い出と自信を育むことができるよう、地道に教育活動に取り組んでいきます。

後期も残り3ヶ月となりました。学校のカレンダーではラストスパートの時期になります。まずは、子どもたちに新年の抱負（めあて）をしっかりとめさせ、気持ちよく、そして、やる気に満ちた学校生活を目指したいと考えています。



← 気持ちを緩めることなく感染対策を →



毎晩、北九州市のホームページを見て、その日に判明した新型コロナウイルス感染者の状況を確認するのが日課となっています。年末年始も市内で毎日およそ20～30人が新規感染者となっています。その中には、家庭内で感染した複数の小学生も含まれています。全国的に見ると、首都圏でまた非常事態宣言発出が検討されるほど予断を許さない状況が続いています。ニュース等で医療現場の緊迫した状況が放送されるのを見るたびに、「気持ちを引き締めなければ…」という思いが強くなります。

先日から、何度も市教育委員会からのお願いを「いっせいくん」で送信させていただいています。しつこいようで恐縮ですがそれほど学校での集団感染に危機感をもっている表れとも言えます。本人の体調やご家族の状況から、少しでも感染の可能性が疑われる場合には、学校に連絡して登校を控えていただきますよう重ねてお願いいたします。

感染対策という点では、新型コロナウイルス感染症に限らず、インフルエンザやノロウイルスの感染拡大にも注意が必要な時期となりました。手洗いやうがい、マスク着用など基本的な対策は大きく変わりません。ご家庭でも、子どもたちの健康管理に向けてさまざまな点でご留意いただきますようお願いいたします。

八幡小学校区には、子どもたちの登下校を見守ってくださっている地域の皆さま。オレンジ色のベストを着た『オレンジジャー』のみなさんたちです。毎月「5」のつく日を中心に、子どもたちの登下校を見守ってくださっています。すが、ほぼ毎日活動されている方々も多数いらっしゃいます。雨天でも寒くても早朝から交差点など危険箇所に立ってくださっている姿を

オレンジジャーのみなさん ありがとうございます



拝見するたび、本当にありがとうございます。毎年、三学期の始業式の際に「お礼の会」を開催してきました。しかし、残念ながら本年度は中止せざるをえません。もちろん、会がなくても感謝の気持ちをもち、それを表現することは大切です。そこで、今日行った全校放送の中で、子どもたちに「感謝の気持ちを込めて、元気に挨拶をしましょう」と、呼びかけました。

心から
感謝いたします

